

# 会 議 録

会 議 名	平成 30 年度第 2 回 辰野町図書館協議会
開 催 日 時	平成 31 年 2 月 28 日 (木) 午前 10 時 30 分～11 時
場 所	辰野町立辰野図書館 2 階会議室
出 席 者	委員 6 名中 6 名 (事務局：宮澤教育長、原課長、辰野図書館職員：吉澤)
会 議 次 第	<p>進行 課長</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会のことば</li> <li>2. 教育長あいさつ</li> <li>3. 協議事項 (進行 会長) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成 30 年度図書館利用状況について</li> <li>2) 平成 31 年度予算について</li> <li>3) 平成 31 年度図書館事業運営について</li> <li>4) その他</li> </ol> </li> <li>4. 閉会のことば</li> </ol>
会 議 結 果	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. 協議事項 (進行 会長) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 平成 30 年度図書館利用状況について 辰野図書館職員から説明し、質疑を経てご了承いただく。</li> <li>2) 平成 31 年度予算について 辰野図書館職員から説明し、質疑を経てご了承いただく。</li> <li>3) 平成 31 年度図書館事業運営について 辰野図書館職員から説明し、ご了承いただく。</li> <li>4) その他 担当から説明する。</li> </ol> </li> </ol> <p>※付記 山寺議員任期満了にあたり、各委員からねぎらいのことばを申し上げて閉会した。</p>
発 言 者	発言の内容
会 長	<p>年度末を控えたこの時期、今年度の図書館の利用状況、また、来年度の事業運営について、ご協議いただきたい。</p> <p>協議事項 1) 平成 30 年度図書館利用状況について、図書館まつりの報告も加えたうえで説明があったが質問などお出しいただきたい。</p>
教 育 長	<p>除籍本のリサイクルを毎年楽しみにしている。昨年の図書館まつりでは自分が中学校の頃に読んだ本に出会えて持ち帰った。読むことを楽しみにしている。</p> <p>入館者は増加して、利用者は減じているが、来館して時間を過ごす人が増えているということなのだろうか。そのあたりの理由をどう考えているか。</p>
図書館職員 (吉澤)	<p>本を借りずに図書館で時間を過ごす人は多い。新聞、雑誌の閲覧を目的に来館する人も一定数見受けられるが、入館者が増えた一番の要因は学習室の利用者増加にあると思われる。5 年ほど前までは入試を控えた高校生の利用が目立ったが、最近、定期テストの時期に利用する中学生が増えてきている。</p>
B 委 員	<p>ベストリーダーに子どもに読んでやった本のタイトルがいくつも入っていて懐かしく嬉しく思う。『はらぺこあおむし』がランクインしていないが、絵本プレゼントでもらっているのだろうか。</p>
図書館職員 (吉澤)	<p>絵本のベストリーダーは、読み継がれて定評のあるものが多くこれは嬉しい。『はらぺこあおむし』は図書館の事業ではプレゼントはしていない。</p>

課 長	普及し切っているのかもしれない。
A 委 員	児童書の貸出数が減少して、定期監査でも指摘があったとのことだが、要因は子どもの数の減少だけなのか。
図書館職員 (吉澤)	子どもの数の減少にその理由を求められれば事は難しくはないが、理由を図りかねているのが現状だ。
F 委 員	<p>学校の状況をお話ししたい。</p> <p>当校の貸出数も減少が顕著だ。理由は大きく二つ考えられる。</p> <p>ひとつ目は図書館の時間の削減。ふたつ目はゲーム時間が子どもに与える影響だ。</p> <p>まず、図書館の時間について、町内他校は週に1回は図書館の時間があるようだが、当校は学校規模が大きいこともあるせいか、隔週となってしまう図書館側からは痛手となっている。英語教育の導入のしわ寄せが図書館の時間の削減になっている。それでも5学年は朝の学習の時間に本だけ借りに図書館へ寄ってくれるが6年生はせいぜい月に1度、クラスによっては月に一度も来ないクラスもある。4月～12月で3,212冊貸出数が減少している。</p> <p>3年生まではよく借りに来ているので、低学年については安心している。ただ、高学年は読み物への移行の時期と重なるので、高学年の図書館授業日数の減少は影響が大きい。学年に合わせて厚い本も読みきかせしているが、4年生までに培ってきたものが途切れてしまうのではと懸念している。</p> <p>中学高校と上がるにつれて、学習面でこれから記述式が増えてくる。本を読まなければ、読解も記述もできない。現場の実感として、読める子はできる。</p> <p>子どもに読む力をつけることが学校図書館司書としての自分の役割と認識しているが、先述したように学校現場の現状は厳しいものがある。</p> <p>ふたつ目はゲームの影響だ。学校でも家庭向けにお便りを出しているが、遅きに失したという印象がある。今問題になっているのは従来のRPGのようなゲームではなく、オンラインゲームだ。家族がやるのを見ていると、仮想と現実の切り替えができないのが原因なのか20歳の子でもイライラする。そういうゲームを小学生がやっているということが心配になる。</p> <p>図書館の時間でも、ゲームの貸し借りの話しをしている。ほかのゲームをしても、オンラインゲームのCMが入って、クリックすればすぐにインストールできる。具体的なゲーム名は「フォートナイト」「荒野行動」。「フォートナイト」はサバイバルゲームで男子の7～8割が経験している。「荒野行動」には、残虐な描写もあるし、このゲームに関わって、過去に出会い系サイトで事件が発生しているが、夢中になっている子も多くみられる。なおかつこのゲームにはチャット機能もあり、ゲームをやりながら“死ね、死ね”と連呼する子もいる。</p> <p>今までのゲームは、課題をクリアしてステップアップしていくことで、出来る喜びを味わって“クリアしたい”という気持ちからゲームにはまりやすくなっていた。</p> <p>だが最近のオンラインゲームには相手がいる。その相手は意志を持っており、その時その時で考え方や行動が異なる。丸腰の相手を銃で撃つ。それを子どもたちがやっていることが怖いことだしよくないことだと思う。</p> <p>とにかく小さい子にやってほしくないが、親世代もRPGゲームで育ってきている人もいて、オンラインゲームの怖さがわかっていないのではないかと危惧する。</p> <p>夜遅くまでゲームをやって、朝寝坊をして、朝食抜きで登校というケースも見受けられるし、こだわりの強い子はやめられない。何とかしなくてははいけない。</p>

A 委 員	<p>今の問題はまさに社会問題だと思う。子どもの学力低下が言われているが、学校の指導以前の問題で、今までと違うことに時間を費やし過ぎてることが原因と考える専門家も多い。協議会でも情報を交換し合っていくが、議会などとも連携を取って大きな問題として考えていかなければならない。</p>
教 育 長	<p>学校現場でも問題となっている。確かに今の二つのゲームの名前も出ている。専門家をお呼びしてお話をお聞きする機会も設けてきてはいるが、親が本腰を入れないと解決しない。親に「子どもの前ではやらないでほしい」といわなければならない時代になった。親が変わらなければいけない。小学校中学校含めて辰野町の来年度の課題だと考えている。</p>
E 委 員	<p>保育園はまだゲームは入ってきていないが、ユーチューブに関わる子が増えていると感じる。</p> <p>移動図書館の時も、“読まないから借りなくてもいいよね”という家庭も見受けられる。本を踏みつける子が増えているし、ある親は、“本は破るもの”と平然と言いつつ。就寝時に読みきかせではなく、ユーチューブに代表される動画や映画などを見せて寝かす親もいる。絵本を読みきかせて寝かしつける、あるいは、子どもと絵本を読むという家庭が減ってきていると感じる。</p> <p>移動図書館にしても、借りていってそのまま読まずに返すだけ、あるいは明らかに親に読んでもらっていないという子もいる。家庭で親と子がどう過ごしているのかが懸念される。</p> <p>未満児や年少児でも、著名なユーチューバーであるヒカキンの名前を言う子もでてきた。ここ何年か園児の会話でその言葉を聞くようになってきている。ヒカキングッズを身に付けて登園する子もいる。</p> <p>まずユーチューブから入るといふ流れがあるのだろうか。親への啓発をどうしたらいいのか園としての課題だと思う。</p>
F 委 員	<p>塩尻では、中学1年でSNSについての学習会があり親子で参加して教育される。ユーチューブは二十歳以上という規約があると思うが、西小ではそれを先生方も知らないという印象を持った。</p> <p>こういうことは毎年毎年知らせていかないといけないのかもしれない。特に低年齢の子への啓発が肝要だと感じている。</p>
C 委 員	<p>先ほど家庭での親子の過ごし方ということがあったが、親に時間的余裕がないということも大きな要因ではないか。学童保育に通う児童が年々増加していることもその表れだろう。共働きで、仕事から帰宅してすぐに夕食の支度に取り掛からなくてはならない、そんなとき、動画などを見せておけば子どもが大人しくしているということはあると思う。それにうつつを抜かしている子どもの実態を、親が自らの忙しさに紛れて良しとしてしまっているところに問題がある。</p> <p>孫が高校2年生になる。2~3年前は、コンピューターゲームの悪い面が頻りに報道されていたが、こここのところそういった報道が下火になっているように感じる。それも要因ではないだろうか。子どもの成長への悪影響を自覚してもらえるような方策を考えていかなければならない。</p>
D 委 員	<p>飲食店で、母親たちがランチタイムを楽しんでいる様子を目の当たりにしたが、赤ちゃんにスマホを見せて、自分たちはおしゃべりをしていて、恐ろしさを感じた。</p> <p>若いお母さん達の意識を変えていかないといけないと感じている。</p>
図書館職員 (吉澤)	<p>図書館のセカンドブックでは、保護者向けに、生の声で読んでもらうことで子どもの中に目に見えない力が育まれるという話しをしながら、2004年に出された日本小児科医会の提言に必ず触れるようにはしている。</p>

A 委 員	これだけの大きな問題になってくると、学校、保育園、図書館といった単体ではなくて連携して取り組んでいかなければならない。何らかの機会をもうけていかなければならないと思う。
会 長	協議事項 2) 平成 31 年度予算について、ご意見などお出しいただきたい。
A 委 員	有料データベースや電子図書館構想への見通しはどんな様子かお聞きしたい。
教 育 長	昨年までは、予算要求をしても端から否定されるという状況だったが、今年予算査定では、“そういう時代になってきている。辰野町でも導入していかなければならない”という言質を引き出すことができた。ただ、平成 31 年度は学校へのエアコン取付という大きな事業があり、経費的にままならない状況だったことをご理解いただきたい。
会 長	協議事項 3) 平成 31 年度図書館事業運営について、ご意見などお出しいただきたい。
B 委 員	昨年からはじめた賢治の読書会は、継続するようだが、内容や講師はどのようなものかお聞きしたい。
図書館職員 (吉澤)	参加者からは大変好評で、次年度も継続することになった。“注文の少ない読書会”なので、細かい決まりは一切作っていない。初回集まったメンバーで、開催頻度を例月とすること、毎月課題図書を取り上げそれについてフリートークをすることなどを決めて、開催している。講師はいない。課題図書も読んでこなくても参加できるし、途中からの参加も歓迎している。
C 委 員	参加者の年齢層や性別は。
図書館職員 (吉澤)	毎回 10 名から 15 名程度の参加がある。年齢層は 50 代から 70 代、男性も 3 名参加している。 図書館は今までクラフト的な教室をいろいろと開催してきたが、最近は町内の各種施設で似たような催しが多い。読書会は図書館ならではの催しだととらえている。賢治読書会以外にも、利用者の方から申し出があれば会場提供など、支援はやぶさかではない。
E 委 員	移動図書についてお願いしたいことがある。ルールを再確認していただき手全園統一してほしい。 返していない子には貸し出さないとか、返却は保育園が介在することなく当日直接移動図書館車に返却するなどしてやり方を変えていただけると嬉しい。
図書館職員 (吉澤)	園長会からお申し出をお受けしている。 以前は、園ごとにとにかく園長先生のお考えで独自に運用していただいて面もあった。家庭、保育園、図書館の 3 者にとって一番いいやり方を職員間で検討している所なのでもう少し時間がほしい。
A 委 員	蔵書点検を公開で行う理由は、資料管理にかかわって利用者とのトラブルか何かあったのだろうか。
図書館職員 (吉澤)	移動図書資料の返却で管理上の手落ちがあり利用者に不愉快な思いをさせた。システム上未返却が続いていたので再三督促をしたのだが、実際は返却期限前に保育園に返却された本が図書館に届いていなかった。園から図書館に届いた時点でお詫びの封書を送ったが、それでは足りず、該当園の園長と直接出向き、きついおしかりを受けてきた。 「図書館はいったいどういうふうの本を管理しているのか」とも言われ、そのことが、公開蔵書点検に踏み切る大きな要因となった。 図書館の資料管理の実態、特に今まで休館非公開で行っていた作業を公開することで、図書館の仕事への関心を持っていただくきっかけとなればよいと思う。

会 長	4) その他について ご意見などお出しいただきたい。
F 委 員	定期監査で指摘された児童書減少に関わって、児童が“まちとしょにも新しい本がいっぱいはいればいいのに“とっていたが。児童書の所蔵や新規購入は配分としてどのくらいあるのだろうか。
図書館職員 (吉澤)	年間 3,000 冊新規所蔵するとして、児童書は 750 冊程度購入している。公共図書館のスタンスとして、新しい本だから所蔵するということはない。子どもに読んでほしい本、子ども時代に出会ってほしい本、調べ学習に欠かせない本を核に据えて、その周りに話題の本や新しい本が位置する。その子の気持ちは充分受け止めたいが、図書館の事情もご理解いただけるとありがたい。
会 長	小野図書館については、協議会としてもうかつだったかもしれないが、一度小野図書館で会議を持って見たい。2 万冊の蔵書をどうするか、またそれを生かす方向性などについて協議会としても考えていきたいと思う。
図書館職員 (吉澤)	小野図書館について教えていただきたい。 昨年の協議会後の経過の中で、事務局案は誰がいつ決めたのか。また、資料にある 5 つの会議の中で図書館協議会はどう位置づけられているのかお聞きしたい。 教育委員会及び総合教育会議での協議内容は会議録として公開していただけたということだが、3 年後 5 年後に、小野図書館の存廃決定のプロセスを顧みたとき、特に事務局立案の過程は明確に資料として残しておいてほしい。 地元の方は、仕事が終わった後など夜間に 5 回の会合を持って要望書をまとめられた。その真摯なあり方に、町としても誠実にこたえてほしい。
教 育 長	小野図書館がなくなるということではない。この問題はどこかにゴールがあるというものでない。ぜひ小野図書館を会場として協議会をもってほしい。
課 長	出来るだけ小野図書館に出向き、利用状況をみたり、職員や来館者の話を聞いてきた。地区の会合などでも話題になり、気に掛けてきた事案だった。 2 年前、女団連から、辰野図書館で借りた本を小野図書館で返せないかという要望があった。塩尻市の北小野センターと常に比べられている。小野支所に職員が毎日来ているからその職員に預けるという方法もあるかもしれないが、図書資料に対する責任を負えるものではないということで、今のところは返せないということではないのかどうか。
図書館職員 (吉澤)	物流がないということが一番のネック。辰野図書館で借りた方は、辰野にお返しいただくことが原則だと考えている。時間外であればブックポストをご利用いただける。物流については、小野地区だけでなく全町を網羅したアウトリーチサービスを考える時期に来ていると感じている。
会 長	大きな問題で皆さんからご発言をいただいた。特に子どもの育ちについては、教育委員会などで機会を設けていただき、その折には協議会としても積極的に関わっていかねばならない。 全体を通して、特別ご意見などなければ、第 2 回図書館協議会をこれで閉会としたい。熱心にご協議いただきありがとうございました。